

# 研修センター便り

No. 7 後志教育研修センター

平成26年1月 22日 発行

TEL0136-22-1337

FAX0136-22-2681

**本格的な寒さが続いております。  
今年も皆様のますますのご安寧と  
ご活躍を心より願っております。**

清新な気持ちで年神様を迎え、その後、小正月も過ぎました。多くのエネルギーを体感しつつ、午年である平成26年が始動いたしました。始動して間もなく、サッカー



選手の本田圭佑さんがセリエAの名門、ACミランに入団しました。彼は、「いつかセリエAで背番号10をつけたい」と小学校の卒業アルバムに載せておりました。その夢を1年1年積み重ね、ついに15年目にして果たしたのです。記者会見の席で、「ここに来るまで僕は時間がかかった。しかし、一つ一つ階段を上れば、いずれたどりつけるんだということを証明できたと思います。」と、勇気のわくメッセージを子どもたちへ送っています。

さて、当センターは昭和50年3月、「後志管内の市町村が共同して行う教育に関する研修及び調査研究を実施する」という目的のため創設されました。爾来39年間、市町村行政理事者をはじめ、教育関係者等のお力添えを得ながら、目的実現のため1年1年という小さな単位を積み重ねてまいりました。本田選手のように夢は確実に実現したとはなかなか言い難いところではありますが、子どもたちの明るい未来に向け、教職員や社会教育主事等の皆様の有益な研修のお手伝いをさせていただいたことは紛れもない事実かと思っております。加えて、研修内容もその時代の求める課題に応じて一つ一つステップアップしてまいりました。平成26年午年にかかわらせていただく私も現職員・現所員は、先輩諸氏の才と徳を真摯に受け継ぎ、設置目的の実現という一筋の光明に向かって強く邁進したいと考えております。「生きることは一(ひ)と筋がよし寒椿」(五所平之助 作)。

昨年同様、本年も特段のご指導・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 平成 26 年度研修講座事業に係る変更試案は以下の通りです。

※ 2月4日の運営委員会にてご審議いただく予定です。

### 1 「学級経営3 話し合い活動」・・・「特別活動」の内容を拡張し毎年実施する

新学習指導要領では、子どもたちの思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から言語活動の充実を求めています。そのため、これまで隔年実施してきた「特別活動」の研修講座の内容を拡げます。具体的には、意図的・計画的に子どもたちの話し合い活動を充実させることで、互いの考えや立場の違いを理解し合い、問題解決の方法や互いに果たすべき役割を認識し、よりよい集団づくりへと導く力を養うため毎年開設します。

### 2 「読書指導」・・・従来の「図書館教育」の名称を変更する

学校と地域にある図書館との一層の連携を図り、併せて朝読書についても広く研修し、研修内容の深化・充実を図ります。

### 3 「書写実技」・・・領域を変更する

昨年度「生涯学習」の領域にて新設した講座ですが、受講された教職員のニーズが極めて高かったことから、「専門性を高める」領域へと移設し、毎年開設することとしました。

### 4 「ものづくり」・・・従来の「技術科」の名称を変更し、研修内容の深化・拡張を図る

栽培や木工あるいは教室内で使える道具づくりをはじめ、小学校・中学校ともに使える「ものづくり」の技能を習得する内容とします。

## 平成 25 年度後志教育研修センター業報告会 終わる

菅原局長、早瀬教育長部会長、榊井小中学校長会々長をはじめ40名の参加者にて、標記報告会を開催致しました。学習指導研究委員会では、古館委員長（右下写真）の研究経過等の説明に続き、8名の所員がリレー方式で報告致しました。二セコ小 新井融校長や共和中 須貝満恵教諭からは貴重なご意見・ご感想をいただきました。社会教育研究委員会では、寿都町教育委員会 山本将平 社会教育主事が、主に住民の社会参画促進にかかわって2年次研究の1年次目の報告を致しました。



ご参会の皆様には心より感謝申し上げますとともに、所員のご努力に敬意を表します。